

石巻市訪問

訪問日：平成25年10月24日（木）

石巻市の放課後子ども教室

石巻市では、放課後の子どもたちの居場所をつくり、地域住民の協力によって遊びや学び、体験活動、交流活動等を行うことを目的に、今年度より和渚小学校区に「和っ子クラブ」を開設しました。

地域の方々の協力体制が整っており、ボランティアさんを含めると40名近くのスタッフで教室を運営しています。活動の内容は「昔の遊び」「スポーツ活動」「伝統文化」「体験活動」を4本柱とし、計画的な年間活動計画が整備されています。生涯学習課の若生さんからは、「スタッフの皆さんが熱心に子どもたちに向き合ってくれるので、活動内容も本当に充実しています。」と話してくれました。

震災の影響で地域コミュニティが再生されていない地域が石巻市には多く残っています。そんな中で、「今後、他の小学校区においても子ども教室事業を拡大していければ。」とのお話もいただきました。

学校区	実施場所	運営スタッフ	活動時間	開設日数
和渚小学校区 (登録児童39名)	和渚地区老人憩いの家	コーディネーター 3名 教育活動推進員 8名 教育活動サポーター 7名 地域ボランティア 21名	毎週木曜日実施 14:30~16:30 夏季休業中実施 9:00~12:00	38日 (うち休業日3日)

☆☆和っ子クラブ（和渚小学校放課後子ども教室）☆☆

石巻市教育委員会で情報交換を行った後、和っ子クラブ（和渚小学校放課後子ども教室）に訪問しました。

この日の活動は、「伝統文化」の農業体験でした。今ではほとんど見かけることなくなった足踏み脱穀機を用いての脱穀作業です。脱穀する稲は、前回の農業体験の時に子どもたちが鎌で手刈りした稲です。スタッフに手を添えられながらおそるおそる脱穀機に稲を絡めます。勢いよくもみが弾け飛ぶと、子どもたちから歓声が上がります。あるスタッフさんからは「足踏み脱穀機での脱穀作業は初めてです。」と、珍しそうに様子を眺めていました。

脱穀作業に夢中な子どもたちに話を聞いてみました。「和っ子クラブは楽しい？」の問いに、「すごく楽しいです!」「どんなところが楽しい?」とさらに問いかけると、「地域の人たちと触れ合えるから!」「普段できない活動が体験できるので楽しい!」などと答えてくれました。

脱穀したもみを集め、次は機械で精米します。子どもたちは目を輝かせ、お米ができるまでの行程を学習していました。また、脱穀後のわらはは、次回の「伝統文化」教室で正月のしめ縄づくりの材料にするそうです。

時間の都合でここまでの活動を見とどけ、和っ子クラブを後にしましたが、この後、老人憩いの家へ移動しスタッフさんが準備してくれたおこわをみんなでいただき収穫を祝うのだそうです。

スタッフの皆さんの優しさ、温かさ、そして、子どもたちの純粋さを感じた和渚小学校放課後子ども教室でした。





- ### 「和小っ子クラブの約束」
- 1 きちんとあいさつをします。
 - 2 言葉遣いに気をつけます。
(ボランティアさんは「〇〇さん」と呼ぶ。)
 - 3 小さい子の面倒をみます。
 - 4 地域の方やおにいさんおねえさんの言うことをしっかり聞きます。
 - 5 くつをきちんとそろえます。
 - 6 最後まで後片付けをします。

おいしいものを作って
子どもたちに食べせっと！

勢いよく杵が
飛び散ります



みんな！
これが足踏み
脱穀機です
ちょっと怖い…



脱穀したわらも
子どもたちにとっては
すぐ遊び道具に！！



このわらを使ってお正月の
しめ縄づくりをします。
粗末にしちゃダメッ！



この機会に精米をします。
みんながいつも食べている
お米のできあがり？